

2026 年 1 月 13 日

各 位

会 社 名 ア ル テ ッ ク 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 池 谷 壽 繁
(コード番号 9972 東証スタンダード)
問 合 せ 先 経 理 部 長 兼 経 営 企 画 部 長 野 田 剛 司
(TEL : 03 - 5542 - 6762)

(開示事項の経過)

営業外費用、特別利益、特別損失、および法人税等調整額（損）の計上

ならびに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025 年 11 月期の決算において、営業外費用、特別利益、特別損失、法人税等調整額（損）を計上することとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、当該計上の一部には、2025 年 4 月 24 日付の「持分法適用関連会社の異動（出資持分譲渡）に関するお知らせ」、および 2025 年 10 月 30 日付の「事業構造改革の実施に伴う特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ」にて精査中である旨をお知らせした業績への影響額が含まれております。

また、2025 年 10 月 30 日に公表いたしました 2025 年 11 月期の連結業績予想、および 2025 年 1 月 14 日に公表いたしました 2025 年 11 月期の個別業績予想を下記のとおり修正いたしますので、併せてお知らせいたします。

記

1. 営業外費用、特別利益、特別損失、および法人税等調整額（損）の計上に関して

(1) 営業外費用の計上に関して

・貸倒引当金繰入額

当社取引先に対する未回収債権に関して「金融商品に関する会計基準」に基づき評価した結果、連結決算および個別決算において、当該債権に関する貸倒引当金繰入額 133 百万円を計上いたします。

(2) 特別利益の計上に関して

・関係会社出資金売却益

2025 年 4 月 24 日付の「持分法適用関連会社の異動（出資持分譲渡）に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、持分法適用会社である愛而泰可新材料（深圳）有限公司の全出資持分の譲渡を決議いたしました。2025 年 11 月に当該譲渡手続きが完了いたしました。下記の「（3）特別損失の計上に関して」に記載のとおり、当該譲渡により個別決算においては関係会社出資金売却損を計上いたしますが、連結決算上と個別決算上とでは出資金の帳簿価額が異なるため、連結決算においては出資金売却益 429 百万円を計上いたします。そのほかに連結子会社 1 社の出資金売却益 18 百万円を計上するため、連結決算において合計 448 百万円の関係会社出資金売却益を計上いたします。

（３）特別損失の計上に関して

・事業構造改善費用

2025 年 10 月 30 日付の「事業構造改革の実施に伴う特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、プリフォーム事業の新規事業である再生フレーク事業に関して、撤退を含めた構造改革を決議し、当連結会計年度において当該事業から撤退いたしました。これにより、六盤水愛而泰可環保科技有限公司において減損損失を計上したほか、その他の撤退費用等が発生したため、連結決算において事業構造改善費用 1,198 百万円を計上いたします。また、一部費用は当社の負担となるため、個別決算においても事業構造改善費用 60 百万円を計上いたします。

・減損損失

連結子会社であるアルテック新材料株式会社において、減損の兆候が認められることから固定資産に係る回収可能性を検討し、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき保有する一部の固定資産に関して減損処理を行ったこと等により、連結決算において減損損失 1,057 百万円を計上いたします。

・関係会社出資金売却損（個別業績のみに影響）

上記の「（２）特別利益の計上に関して」に記載のとおり、持分法適用会社である愛而泰可新材料（深圳）有限公司の全出資持分譲渡により、連結決算においては関係会社出資金売却益を計上いたしますが、連結決算上と個別決算上とは出資金の帳簿価額が異なるため、個別決算においては関係会社出資金売却損 160 百万円を計上いたします。

・関係会社株式評価損、貸倒引当金繰入額、債務保証損失引当金繰入額（個別業績のみに影響）

連結子会社であるアルテック新材料株式会社において、減損損失を計上したことにより、債務超過額が拡大することになったことから、下記の特別損失を個別決算において計上しております。

当社が保有するアルテック新材料株式会社に関して、株式の実質価値が低下したため減損処理を行った結果、個別決算において関係会社株式評価損 156 百万円を計上いたします。

また、当社からアルテック新材料株式会社の貸付金に関して、貸倒引当金の計上が必要と判断し、個別決算において貸倒引当金繰入額 850 百万円を計上いたします。

さらに、当該貸倒引当金繰入額を超える債務超過分に対して、個別決算において債務保証損失引当金繰入額 613 百万円を計上いたします。

なお、これらの特別損失は、連結決算においては消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

（４）法人税等調整額（損）の計上に関して

2025 年 11 月期の業績および今後の見通しを踏まえ繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、繰延税金資産の一部を取り崩したため、2025 年 11 月期第 4 四半期連結会計期間において法人税等調整額（損）191 百万円を計上いたします。第 3 四半期連結累計期間（2024 年 12 月～2025 年 8 月）において法人税等調整額（益）169 百万円を計上していたため、2025 年 11 月期連結会計年度の法人税等調整額（損）計上額が 21 百万円となります。

2. 業績予想の修正に関して

(1) 2025 年 11 月期通期 連結業績予想数値の修正 (2024 年 12 月 1 日～2025 年 11 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 18,000	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	円 賤 未定
今回修正予想 (B)	17,551	24	△126	△2,594	△188.43
増 減 額 (B) - (A)	△448	—	—	—	
増 減 率 (%)	△2.5%	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 2024 年 11 月期通期	18,233	△148	△253	△98	△7.18

売上高につきましては、概ね前回予想値となる見込みであります。

段階利益につきましては、当社グループを取り巻く環境に不確定な要素が多いことから、前回予想では「未定」としておりましたが、商社事業が増益となる見込みであるうえ、プリフォーム事業の赤字幅も縮小する見込みであることから、営業利益を計上する見込みであります。

しかしながら、「1. 営業外費用、特別利益、特別損失、および法人税等調整額 (損) の計上に関して」に記載しました影響等により、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失を計上する見込みであります。

(2) 2025 年 11 月期通期 個別業績予想数値の修正 (2024 年 12 月 1 日～2025 年 11 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 12,000	百万円 350	百万円 350	百万円 200	円 賤 14.52
今回修正予想 (B)	10,708	485	412	△1,509	△109.64
増 減 額 (B) - (A)	△1,291	135	62	△1,709	
増 減 率 (%)	△10.8%	38.6%	17.8%	—	
(ご参考) 前期実績 2024 年 11 月期通期	10,947	297	359	354	25.78

売上高につきましては、飲料用プリフォームの販売数量が当初計画を下回る影響等により、前回予想値を下回る見込みであります。

営業利益、経常利益につきましては、全社をあげてコストコントロールに努めたことから、前回予想を上回る見込みであります。

しかしながら、「1. 営業外費用、特別利益、特別損失、および法人税等調整額 (損) の計上に関して」に記載しました関係会社の投融資の評価に関する特別損失計上の影響等により、当期純損失を計上する見込みであります。

【将来に関する記述等についてのご注意】

上記記載の業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいているため、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる場合があります、これらの予想の達成や将来の業績を保証するものではありません。

以 上